

**うちのイチ押し!**

大阪市

# こどもカーニバル 2023



市内の青少年団体などの協力を得て、全市のこどもたちが家族や友だちと楽しく遊べるこども同士の交流の場として、わくわくドキドキの楽しい催しを行います!

- **セレモニー広場**…こどもたちによる鼓笛隊やプラスバンド等の演奏などが行われます
- **わんぱくひろば**…スタンプラリー、ゲーム、ストラップ工作など
- **模擬店コーナー**…フランクフルト、フライドポテト、ジュースなど
- **遊び体験コーナー** ● **ミニSLコーナー** ● **ミニオリンピック** ほか

**自由  
入場**

**日時** 4月23日(日) 10:00~15:00

**場所** 大阪城公園 太陽の広場、野球場 (JR「大阪城公園」、Osaka Metro「大阪ビジネスパーク」)

**対象** どなたでも **費用** 入場無料 (コーナーにより一部有料)

※雨天中止 (小雨決行) のほか、感染症等の影響により中止または延期・実施内容を変更する場合があります。



**お問い合わせ**  
**大阪市総合コールセンター**  
 (年中無休・8~21時)  
 電話: 4301-7285 FAX: 6373-3302

## 大阪市こどもカーニバルとは

市内の青少年団体などの協力を得て、こどもたちの健全な成長を願い、昭和54(1979)年から開催しています。こどもたちによる演奏や開会宣言など、こどもたちが主役となって活躍し、工作、ゲームなど、こどもたちが家族や友だちと楽しく参加できる多彩な催しで、一日中笑顔と歓声があふれるカーニバルです。



**主催: 大阪市** **実施主体: 大阪市子ども会育成連合協議会**



おおさか

## 歴史探訪

177

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

## 日本鑄鋼所跡 — 国家と競った民間工場 —

官営八幡製鉄所といえば社会科の教科書に載っていたのを覚えているでしょう。日本の近代化に欠くことのできない鉄鋼素材を国産化できるように、国家事業として現在の北九州市八幡東区に建設され、明治34(1901)年2月に高炉の運転を開始しました。平成27(2015)年には世界遺産「明治日本の産業革命遺産」として登録されています。そうした国家による製鉄事業ではなく、最初から民間工場としてスタートしたのが今回紹介する日本鑄鋼所です。

これは明治32(1899)年に片岡直輝(もと日本銀行大阪支店長、同年に大阪瓦斯初代社長就任)らが設立したもので、今の此花区伝法にありました。技師長の山崎久太郎、技師の羽室庸之助(はむらうのすけ)はもと八幡製鉄所の技手であり、明治30(1897)年から製鉄法習得のためドイツに派遣されていましたが、当時ドイツの小工場で盛んになっていた鑄鋼の製造に着目し、命じられた研究を放棄して鑄鋼技術を学んだ結果、帰国後、退職を命じられました。それを大阪府立商品陳列所長の工学博士・平賀義美(ひらがよしみ)が支援し、そのあっせんにより片岡らによって設立されたという経緯をもちます。

八幡製鉄所より早く明治33(1900)年4月に操業を開始しましたが、故障や不良品が続出し、同34年初めからやっと軌道に乗り始めました。しかし資金面で窮地に陥り、同年6月に住友家を買収し住友鑄鋼場となりました。同35年末には平炉2基を備え、年間2000tの製鋼能力、一日約6tの鑄造能力を備えるにいたり、鉄道用品・船舶用品・鋳山用品などを製造し、特にトロッキの車輪は軽量・堅牢で各地の鋳山で採用されました。

現在、官営八幡製鉄所、日本鑄鋼所それぞれの系譜は一つになり日本製鉄株式会社となっています(平成31(2019)年)。源流の一つである「日本鑄鋼所跡」の顕彰碑は、跡地である市立伝法小学校(伝法三丁目13)の校門の近くにあります。学校内には立ち入りできませんので、どうぞ外側からご覧ください。(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)



伝法小学校にある顕彰碑